

## 令和3年度 第1回壬生町企画委員会結果概要

1. 開催日時：令和3年7月29日（木）9時30分から12時00分まで
2. 開催場所：壬生町役場 正庁
3. 出席者：鯉沼玲子委員（会長）、島田繁雄委員（副会長）、斎藤敦子委員、小西美樹委員、山縣博委員、大橋信行委員、福田明宏委員、栃木卓夫委員、水井正行委員、森島敦委員、梁島源智委員、山杉睦子委員、廣田香織委員、早乙女春香委員、佐藤玲子委員、中里年昭委員
4. 会議内容：令和2年度に実施した壬生町創生総合戦略関連事業、地方創生関連交付金事業及び壬生町国土強靱化地域計画についての効果検証
5. 委員からの主な意見：

### 【地方創生拠点整備交付金事業について】

#### 「健康スポーツ町民交流プロジェクト ～山のないまちでクライミング！～」

- ・昨年度から大会を開催できない状況であるが、今後の対策はどうか。  
→放課後児童クラブを活用し、各学校のボルダリング施設の活用と競技の普及振興を図りたい。
- ・コロナ禍により利用者が少ない状況であると思うが、施設の活用に努めていただきたい。  
→現在は感染症の拡大防止の影響により、15名が定員となっているところ、7名で新規講習を実施しているが、予約状況はキャンセル待ちをする状況である。
- ・コロナ禍において、イベントの開催は難しいところであるが、東京五輪や国体の感染対策を参考に事業を進めていただきたい。

### 【地方創生推進交付金事業について】

#### 「健康スポーツ地域交流推進事業 ～山のないまちでクライミング！～」

- ・質疑なし

## 【地方創生拠点整備交付金事業について】

### 「低年齢児向け“おもちゃ博物館”リノベーション事業」

- ・年間パスポートの購入方法として、都度払いや半年パスポートなどができると助かる。  
→指定管理者制度による施設運営となるため、施設振興公社にご意見があった旨お伝えいたします。
- ・SNS を活用した情報発信が充実していた。
- ・町内在住であることによるメリットとなるサービスを検討いただきたい。
- ・入場者のデータ（居住地など）は集計しているのか？  
→年間パスポートや団体予約のお客様は把握できるが、個人のお客様は把握していない。全体の 88%は県内のお客様となっている。

## 【地方創生推進交付金事業について】

### 「次の未来へ「甦れ清流」ふるさと再生計画」

- ・川の周辺などをきれいにする大規模な清掃活動を町主体で実施いただきたい。
- ・農村地域で普及率が低くなっている理由は？  
→農村地域は町が整備するわけではなく、補助金を交付し個人で整備を行うため、個人負担が大きくなることから普及率が低率となっていると思われる。

## 【地方創生推進交付金事業について】

### 「公共交通で繋ぐ、地域の宝(人・観光・健康・仕事) 1市2町連携プロジェクト事業」

- ・コストコ出店による渋滞への対策は想定しているのか？  
→現時点ではない。
- ・バス利用者はどんな方が多いのか？  
→獨協医科大学病院を目的地として利用される方が多い。通勤通学の利用に課題が残る。
- ・バスの運行ダイヤについて、石橋駅の JR 線との乗り継ぎがスムーズにいかないため、調整するよう検討いただきたい。
- ・東京圏からの転入者数は、単純な転入のみのカウントということか。転出者は含めていないか。  
→お見込みのとおりである。
- ・庁舎の整備に伴うコミュニティバス整備は検討しているのか。他市町のコミュニティバスとの連携や施設との連携を図りたい。
- ・アンケート調査は実施しているのか。  
→令和 2 年度に無作為抽出によるアンケートを実施させていただいた。庁舎整備に伴う巡回バスの運行については、公共交通計画の策定に伴い現在検討中である。

## 【第2期壬生町創生総合戦略について】

### 「基本目標1 壬生町における安定した雇用を創出する」

- ・新産業団地の整備による町のメリットはあるのか？  
→8.5億円の税収増がある。
- ・新産業団地の整備については、関心の高い地域であるため対外的なPRも含めて進めていただきたい。
- ・認定農業者の女性内訳は？  
→12名になります。

### 「基本目標2 壬生町への新しいひとの流れをつくる」

- ・東武線の乗降客数は一日あたりか？  
→一日あたりの人数です。東武鉄道HPより引用
- ・隠れた資源を発掘し、ふるさと納税の返礼品として活かすことは、銀行としても協力していきたい。また、壬生町出身の経営者もいることから、情報共有を図りたい。

### 「基本目標3 壬生町で結婚・出産・子育ての希望をかなえる」

→質疑なし

### 「基本目標4 壬生町で安心して元気に暮らす」

- ・防災無線が聞き取りにくい状況となっているので、増設を検討いただきたい。  
→豪雨時で窓を閉め切っている場合は特に聞こえづらい状況は把握しており、今後はSNS等による情報発信を強化していきたい。増設についても検討を行っていく。

## 【壬生町国土強靱化地域計画について】

- ・ブロック塀の安全点検及び安全対策の促進を実施する3小学校はどこか。他の小学校は不要ということか。  
→安塚、稲葉、睦小学校である。他の学校については、メッシュフェンスが整備されている。
- ・重要物流道路はどこが該当しているのか？  
→おもちゃ団地の基盤の目のように広がっている道路が該当している。
- ・LINEでも災害情報の発信は行うのか？  
→緊急時には臨機応変に災害情報についても、発信させていただく予定である。